

## 令和 6 年度事業報告 （能登川地域包括支援センター）

## 1 令和 6 年度重点目標及び具体的な取組

重点目標	①多種多様な複合的かつ複雑的なニーズの把握と対応を行う。また、適切な支援が行えるようセンター職員のマネジメント力を強化する。 ②地域包括ケアシステムを推進することにより、高齢者の元気寿命の維持拡大を図る。
具体的な取組	①能登川地域包括支援センターに寄せられた情報は、事業所内で共有するとともに、関係機関と連携を図り、個別対応や個別訪問を実施する。 ②高齢者の心身機能の向上や社会参加への促進を含めた生活の質の向上を目指す。また、自立支援型の地域ケア個別会議を実施する。 ③地域住民や高齢者が元気で健康維持に関心が持てるように、疾病予防や介護予防啓発を関係機関と協力して実施する。

## 2 令和 6 年度事業報告

業務名	取組内容
①総合相談支援業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・センターが地域において安心して相談できる拠点として、三職種が協力して相談から支援対応まで一体的な対応を行った。特に複合化・複雑化した課題を抱える個人や世帯に対しては、訪問回数を増やして対応をした。</li> <li>・各種関係機関や地域との関係を築き連携を図りながら支援した。</li> <li>・80歳を対象とした実態把握調査（郵送124件・訪問29件）を実施した。</li> </ul> <p>【相談件数】 2,846件 【相談内容】 介護・介護保険1,139件 介護予防56件 医療22件 認知症266件 権利擁護160件 その他1,203件</p>
②権利擁護業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の権利擁護について、東近江市地域包括支援センターや権利擁護支援機関と連携を図り支援した。高齢者が住み慣れた地域で安心して尊厳のある生活を行うことができるよう、高齢者の権利擁護のための諸制度を活用し支援をした。</li> <li>・毎月3センター合同で開催している高齢者虐待事案ケース経過会議に出席し、経過の確認や今後の対応を協議した。</li> <li>・虐待通報時には状況確認の訪問を行い実態の把握に努めた。緊急性の高いものについては即日分離対応などの支援を実施し、東近江市地域包括支援センターと情報共有や連携を図り対応した。</li> <li>・成年後見制度や地域権利擁護事業を活用し在宅生活の安定を図ることに努めた。</li> </ul> <p>【虐待通報件数】 3件 （うち、虐待と認定されたもの2件） 【成年後見人申し立て件数】 4件（うち、途中終了2件） 【地域福祉権利擁護事業への相談件数】 7件（うち、2件利用）</p>
③包括的・継続的ケアマネジメント支援業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者が住み慣れた地域で暮らすことができるよう、介護支援専門員や地域の関係機関との連携や多職種相互の共同に努め、包括的・継続的なケアマネジメントに取り組んだ。</li> <li>・能登川地区の居宅介護支援事業所を対象にケアマネ連携会議を4回開催し、そのうち1回は独居及び生活保護受給者の看取り事例について振り返りの事例検討を実施した。ケアマネジャーが関わる事例を通じて、制度を学びケース対応の振り返りができた。</li> <li>・業務継続計画（BCP）をもとに合同での「能登川圏域内居宅介護支援事業所における災害机上訓練」を実施した。</li> <li>・能登川地域の民生委員とケアマネジャーの交流会を実施した。</li> <li>・ケアマネジャーから同行訪問やサービス担当者会議への出席を求められた際は全て対応した。（サービス担当者会議への出席20件以上）</li> <li>・要支援者、訪問リハビリの3カ月以上継続意向があった方には同行訪問をして実態の把握に努めた。</li> <li>・サービス事業所からの依頼により、「要介護高齢者等の避難訓練について」の研修会を開催した。講師を能登川消防署に依頼し25事業所60名の参加で実施できた。</li> <li>・支援が必要な高齢者や認定後に円滑にサービスにつなげる必要がある高齢者に対して認定調査に立ち会いをした。（100件以上）</li> <li>・能登川地域の地域密着型サービス事業所の運営推進会議へ参加し、事業所が提供するサービスに対する助言を行った。</li> </ul>

業務名	取組内容
④介護予防支援業務・介護予防ケアマネジメント業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護予防および日常生活支援を目的として、高齢者の心身の状況に応じて自らの選択に基づき、訪問型サービス、通所型サービス、生活支援サービス等適切なサービスが包括的かつ効率的に利用されるよう必要な援助を実施した。</li> <li>・利用者からのケアマネジメントの依頼に対して迅速に対応した。</li> <li>・事業対象者及び要支援者のケアプランチェックを行い、自立支援の視点に立った助言等を行った。</li> <li>・月に1回センター内で事例検討会を行い、課題解決や自立支援に向けて検討した。</li> <li>・朝礼時にケースの情報を共有し、方向性を検討し支援にあたった。</li> <li>・短期集中による自立支援を必要とする高齢者に対して、通所型サービスCを案内し利用を積極的に進めることで高齢者の自立支援に取り組んだ。</li> <li>・東近江市地域包括支援センターが実施する気づきの事例勉強会へ参加した。</li> </ul> <p>【介護予防支援実施件数】 2,258件（センター1,730件 委託528件）</p> <p>【介護予防ケアマネジメント実施件数】 237件（センター168件 委託69件）</p> <p>【通所型サービスCへつないだ件数】 28名</p>
⑤地域ケア会議推進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通所型サービスCが能登川地域で3クール実施されたことに伴い、各クールの初回、中間、終了時のカンファレンスを自立支援型地域ケア個別会議として開催した。</li> <li>・通所型サービスC利用者の自立支援型地域ケア個別会議で出た個々の課題から地域課題を整理し、能登川地域での地域ケア推進会議を開催した。福祉や医療関係者の他、地域代表の方や多くの関係者に参加していただき開催することができた。</li> <li>・滋賀県地域包括支援センター主任介護支援専門員研修部会員として、「自立支援型地域ケア個別会議のあり方」についての研修会を企画した。研修会では、センターが関わった事例の提供を行ったことで、その後の会議の運営に生かすことができた。</li> </ul> <p>・地域ケア個別会議の実施 9回（自立支援型会議8回 課題解決型会議1回）</p> <p>・地域ケア推進会議 1回</p>
⑥医療介護連携推進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の医療・介護関係者による会議の開催、研修等を行い、在宅医療と介護サービスを一体的に提供する体制の構築を目指した。</li> <li>・東近江市地域包括支援センターが実施する医療との連携ワーキング会議へ8回参加し、居宅介護支援事業所のケアマネジャーと個別ケア会議やケアマネジメント連携会議の運営の他、医療との連携のあり方に関する協議を行った。</li> <li>・東近江医師会主催の在宅看取りについての研修会に参加した。研修会後は、医師とサービス事業所が連携することで在宅看取りに2件繋げることができた。</li> </ul> <p>・在宅医療推進会議への参加 1回</p>
⑦認知症総合支援事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東近江市地域包括支援センターが実施した認知症カフェの見学に行き、能登川地区でも認知症カフェを開催できるように検討を行った。</li> <li>・センター職員が認知症キャラバン・メイトとして登録して交流会や研修会に参加した。</li> <li>・認知症初期集中支援チーム員会議を活用し、介護サービスの利用に繋がらなかったケースを繋ぐことができた。</li> <li>・センター職員が認知症地域支援推進員の研修を受講した。</li> <li>・認知症による徘徊により、行方不明になるリスクの高い人に対してセンターへ情報が入ったときに訪問を行い、事前に生活状況の情報収集や制度の活用を紹介を行った。</li> </ul>
⑧その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1層協議体（いっそう元気東近江）への参加（フレイル予防講座（寸劇）への参加）</li> <li>・2層協議体への参加（レコードカフェへの参加）</li> <li>・ちょこサポ（能登川地域のボランティアグループ）会議への参加</li> <li>・能登川地域スポーツチャレンジへの参加</li> <li>・民生委員定例会へ必要に応じて参加</li> <li>・社会福祉士の実習生7名を受け入れ</li> </ul>